

静岡市清水区 飯田南こども園園長 菊田富士子先生

今回訪問したのは、静岡市清水区のJ R清水駅より北西一・五kmに位置する飯田南こども園です。昭和二十七年に開園した静岡市立の認定こども園です。コンクリート二階建て園舎は、大木が生い茂る神明神社に隣接しており、自然に囲まれた雰囲気の中でこどもたちが元気に生活しています。

園長の菊田先生にごあいさつした後、目にした光景は、園庭いっぱい遊んでいるこどもたちの姿でした。○歳児から五歳児まで全園児が元氣いっぱい光り輝く目で私たちを迎えてくれました。



をしている子など元氣な声があふれていました。

その中で驚いたのが、園庭で段ボールを使っておみこしを作っている子、はさみやテー

で暖かく、こどもたちは遊具や、砂遊びをしたり、水の入ったたらいの中で遊ぶ子、また、その横でどろんこ遊び

プ、散歩で集めたどんぐりを使って制作をしている子、サインペンをもって絵を描いている子、こどもたちが主体的に遊びに取り組む環境がたくさん用意されていました。

広大な園庭ではありませんが、一七七名の園児が上手にスペースを使って活動している姿が印象的でした。既製のおもちゃばかりではなく、職員の皆さんが集めた廃材やホームセンターで見つけた材料などを素晴らしいおもちゃに変身させ、それを使って、こどもたちが夢中になって遊んでいました。



い高さに飾られ、実写の動物写真が多く飾られています。廊下に飾られた製作物は、こどもたちの思いを受け相談して飾る位置を考

園舎の中に移動して、部屋の中も見学させて頂きました。そこでも、色々な工夫がされています。壁に貼られたものはこどもたちが見やす

こどもたちが十分考えたり試したり出来るような環境構成を工夫していました。特別な配慮を必要とするこどもの受け入れも行っており、すべてのこどもたちが一緒に生活しています。近年では特別な配慮を必要とするこどもが増加傾向にあります。そのため、受け入れられるために必要な知識を得る研修に参加し、適切な支援方法を学びあうことでこどもの理解に努めているとのことでした。園内では職員の働き方改革も積極的に行われており、今まで慣例だったものを廃止や縮小して、職員がこどもたちと関われる時間が少しでも増えるように考えたり、休憩時間の取り方を変えたりして、働きやすい環境整備にも力を入れていました。

飯田南こども園は、こどもの「やりたい」がたくさん詰まったこども園でした。コロナ禍の中で取材に対応していただきました菊田園長先生はじめとする職員の皆さまには心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



も増加傾向にあります。そのため、受け入れられるために必要な知識を得る研修に参加し、適切な支援方法を学びあうことで